

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	高規格幹線道路等の整備効果を県内各地に波及し、地域経済を活発にするインターチェンジアクセス強化														
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	千葉県,茂原市,大網白里市														
計画の目標	県内で整備が進めている外環道や圏央道等の整備効果を県内各地に波及させる道路の整備を進め、物流の効率化による地域経済の活発化を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		16,460	A	16,460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	インターチェンジから市町の中心部への総アクセス時間を短縮する。 インターチェンジから市町の中心部までのアクセス時間を算出し、アクセス時間短縮率を算出する。 （アクセス時間短縮率）＝ 1－（Σ整備後の所要時間／Σ整備後の所要時間）	0%	%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	（主）越谷流山線	バイパス L=1.3km	流山市	■	■				14,800		-
	A01-002	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	（主）千葉大網線（仮 ）大網白里SIC	現道拡幅 L=0.4km	大網白里市	■					340		-
	A01-003	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	（主）千葉茂原線（仮 ）茂原長柄SIC	現道拡幅 L=0.2km	茂原市	■	■				650		-
	A01-004	道路	一般	茂原市	直接	茂原市	市町村 道	改築	茂原市 1-15号線ほか1路 線	バイパス L=0.57km	茂原市	■					459		-
	A01-005	道路	一般	大網白里 市	直接	大網白里市	市町村 道	改築	大網白里市 市道2-0347 ・ 2-0349号線	現道拡幅 L=1.1km	大網白里市	■					211		-
										小計						16,460			
										合計						16,460			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画担当課にて評価を実施。	令和4年2月
	公表の方法
	千葉県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	インターチェンジへのアクセス強化を目的とした道路整備は、概ね計画通り推進された。また、H30年度に大網白里SIC、令和元年度に茂原長柄SICが予定通り開通している。 【本事業完成で発現される効果】 A01-002（L=0.4km）、A01-003（L=0.2km）、A01-005（L=1.1km）の現道拡幅により、インターチェンジから市町の中心部までのアクセス時間は短縮されている。 H30当初：0% R2末時点：8% R4末時点：8%
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
未供用区間については、引き続き国庫補助金等を活用し、早期の開通を目指して事業を推進していく。 【未供用区間】 A01-001（L=1.3km）、A01-004（L=0.57km）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	10%	
	最 終 実績値	8%	